

一 般 質 問

平成 28 年第 1 回定例会（3 月 11 日）

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る 者
村山 一彦	<p>1. 地籍調査について</p> <p>①和東町の進捗率は</p> <p>②今後の取り組みについて</p> <p>2. 和東町第4次総合計画・後期基本計画について</p> <p>①将来人口平成32年度4300人達成の根拠</p> <p>②定住施策について 定住奨励金制度の実態 空き家の活用と移住者のマッチング支援</p> <p>③援農者支援と移住、定住促進事業について</p> <p>④優良企業の誘致施策の削除について</p>	<p>町長 建設事業課長</p> <p>町長 総務課長 地方創生担当課長 地域力推進課長 農村振興課長</p>
岡本 正意	<p>1. 高齢者の介護・医療について</p> <p>（1）「要支援」の高齢者の総合事業への移行について</p> <p>①約1年後に移行が予定されている総合事業の検討状況についての説明を。</p> <p>②現行サービス水準の後退、負担増は絶対に許されない。責任を持って現行水準の確保を。</p> <p>③政府に対し総合事業への移行撤回を求めると共に今後検討されているさらなる制度改悪に反対を。</p> <p>（2）介護サービスの基盤整備について</p> <p>①総合計画では「地域密着型サービス提供を促進する」とし、グループホームの整備を検討するとしているが、具体的な計画、方向性は。</p> <p>（3）後期高齢者医療について</p> <p>①平成28、29年度の保険料値上げに対する町独自の軽減対策の実施を。</p> <p>②平成29年度から予定されている保険料軽減措置の段階的廃止の中止を政府に求めると共に独自の対策の検討を。</p> <p>③人間ドック受診負担を3割に。また1泊脳ドックも対象に。</p> <p>2. 子育て世帯の経済的負担の軽減について</p> <p>（1）「総合計画、後期基本計画」の「子育て支援」の対策では、経済的負担の軽減に向けた新たな対策が全くないのは、若い世代の定住出生数の増加、人口増をめざす方向性と矛盾する。抜本的な見直しを。</p> <p>（2）教育費並びに保育料無償化の検討と早期実現を。</p>	<p>町長 福祉課長</p> <p>町長 税住民課長</p> <p>町長 福祉課長</p>
岡田 泰正	<p>1. 路線バスを絶やさないとの強いメッセージを発信せよ</p> <p>①路線バス（湯船～加茂）の年間の輸送人員のピークと現状は</p> <p>② 廃線は和東町の衰退が加速するとの危機意識の思いとは</p> <p>③町民の足の確保には町が責任をもってとりくまねばならないが、将来を見極めた展望は</p>	<p>町長 総務課長 地方創生担当課長</p>

	<p>④ バス運行の経営が課題だ。路線維持のため財政負担の軽減の戦略とは</p> <p>⑤ 独居老人世帯数、老人世帯数、それぞれの世帯数は</p> <p>2. 「地域のかかりつけ医」としての診療所の在り方とは</p> <p>① 保険医療の診療報酬が4月よりどのように変わるのか</p> <p>② 診療所の役割とは</p> <p>③ 「かかりつけ医」を持つことでのメリットとは</p> <p>④ より包括ケアシステム（在宅療法）の充実を図らなければならない。きめ細かいサービスは受けられるか</p>	<p>町長 福祉課長 診療所事務長</p>
<p>藤井 清隆</p>	<p>1. 森林の整備について</p> <p>① 種々の施策が行われてきた中で、特に京都モデルフォレスト運動に関して、その内容と意義について、企業の活動も含めてお聞きします。 また、第4次総合計画第5章に載っている「木育」とはどのような事か、具体的に説明願いたい。</p> <p>次に林業の再興の決定打として、またCO2削減にもつながりエネルギーの自給自足を実現できる方策として、木質バイオ発電事業を提案したいと思います。</p> <p>これは、間伐材などを原料として熱、電気を生み出すもので、地域の雇用を促進し、売電による収益や熱エネルギーの諸産業での利用など種々の効果が考えられるもので、地域の救世主となる事が期待されます。財源の事、国のエネルギー政策との兼合い地域の住民の理解と協力、森林組合等との連携など種々の問題を解決しながら進めるべきものと考えますが、この事業に対する意見をお聞かせ願いたい。</p> <p>2. ゴミの減量化について</p> <p>① これまで取り組んでこられたゴミ減量化施策の中で、特に生ゴミ処理機（家庭用）の補助事業、原山区での堆肥化設備の現状について、報告願いたい。</p> <p>その上で、東部処理場の期限も迫る中、またそれ以後の処理方法未解決の中、減量化は急務と考えられます。それで、提案ですが、生ゴミの中で野菜、台所ゴミなど堆肥化できるもの、いわゆる生ゴミは自家処理とし収集せず、紙類など燃える物（水分の少ないもの）のみ収集してはどうか。</p> <p>そのために、家庭用生ゴミ処理機を全戸無料配付とし、事業所など大量の生ゴミは専用の処理施設にて堆肥化するという案はどうか。考えをお聞かせ願いたい。</p>	<p>町長 農村振興課長</p> <p>町長 農村振興課長</p>